

てんかん発作の疑われるとき

- ①おそれず、あわてず、安全第一に考えて静かにそっとしておいてください**
 - ・けがをしないように周囲の危険なものを取り除く。
 - ・移動はしない、隣の席を空けてゆっくり寝かせる。
 - ・呼吸が楽になるように首のきつい所をゆるめ、可能であればシートベルトをはずす。
 - ・発作の時間が長くチアノーゼのある時は酸素投与をする。
- ②固い物を歯の間に無理に入れることをしてはいけません**
 - ・外傷の原因となりかえって危険です。
 - ・嘔気があるときや唾液が多いときには顔を横に向ける。
- ③発作の様子を観察してください**
 - ・けいれんの状態、顔色、目の位置、手足の動きや左右差、体温等をチェックする。
 - ・発作が起きたときに時計をみて持続時間を計ってください。
- ④発作が終わり意識が回復するまで必ず誰かが側にいてください**
 - ・目覚めたときに特に訴えがなく麻痺もないことを確認すれば普通の活動が可能です。
 - ・頭痛があったりうつろで眠そうな場合にはそのままそっと休ませましょう。
 - ・発作後のもうろう状態には抑制したり刺激したりせずにそっと見守ってください。短時間で治まります。
- ⑤機内でできる発作時の治療として座薬の使用があります**
 - ・本人や関係者（主治医）からの依頼と了解があれば、上記の対応をしてけいれん止めの座薬を速やかに挿入します。
 - ・発作が継続もしくは断続して10分以上つづく時、発作でひどい外傷のある時、全身状態が極端に悪いときには、医療関係者と協議のうえ緊急に継続処置を依頼してください。

(裏面につづく)

医師からの連絡

氏名 生年月日 男・女

発作型

強直発作 強直間代発作 単純部分発作 複雑部分発作 欠神発作
ミオクローニー発作 その他 ()

発作頻度

数回/日 1回/日・週・月・半年・年・数年 数年発作なし
誘因 ()

発作時の対処

- 特別な対処は必要ない
- カード表面の対処を行って欲しい
- 特別な対処として以下を希望する (座薬の挿入など)

服用薬 (種類・1日量・分服) :

主治医名

Tel

病院名